

# 田ノ浦温泉開発スタート

## 田ノ浦地区温泉掘削整備事業

### 温泉掘削は期待のエース

「活性化のエース」は、温泉掘削をおいてほかにない。地域活性化の手だてとして、また観光の目玉として計画された間瀬田ノ浦地区温泉掘削整備事業の起工式が先月九日に行われました。

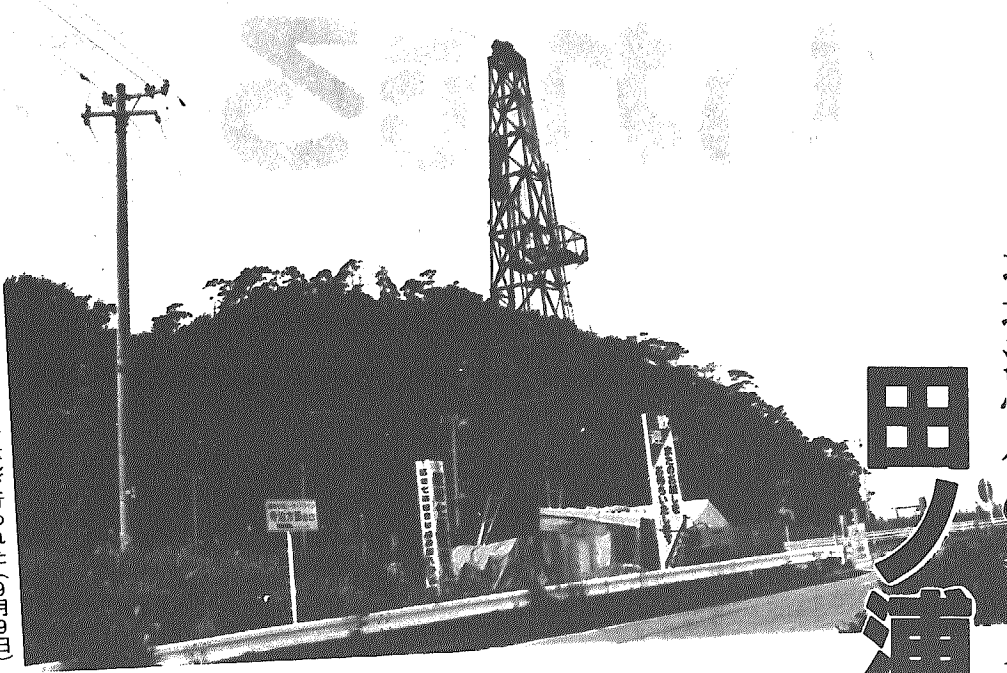
「越後七浦シーサイドライン」沿いにあり、年間十三万二千人が海水浴やつりなどのレジャーに訪れています。また、名勝白岩や崖松、弥彦浦遊歩道など日本の景観にも恵まれています。夏、海水浴シーズンを除いては、これといった目玉がないといわれていました。このため、田ノ浦地区にある旅館で構成する田ノ浦開発協議会（本間儀一郎会長）では、シーサイドラインの

温泉を掘削して、若者と老年寄りに触れ合える地域づくりを——と、村がさる8月末から間瀬田ノ浦地区で地域活性化のエースとして整備を進めている田ノ浦地区温泉掘削整備事業にいま、熱い期待が集まっています。

県営有料道路「越後七浦シーサイ

田ノ浦地区は、県営有料道路「越後七浦シーサイドライン」沿いにあり、年間十三万二千人が海水浴やつりなどのレジャーに訪れています。また、名勝白岩や崖松、弥彦浦遊歩道など日本の景観にも恵まれています。夏、海水浴シーズンを除いては、これといった目玉がないといわれていました。このため、田ノ浦地区にある旅館で構成する田ノ浦開発協議会（本間儀一郎会長）では、シーサイドラインの

掘削する場所は、田ノ浦地区の宝川が流れるすぐ近く（左図



熱い期待を受け、田ノ浦地区で温泉掘削の起工式が行われた（9月9日）

参照)。とりあえず五百坪を掘る計画で、五百坪掘ってみて温泉が出なければさらに検討することになっていきます。

ところで田ノ浦に温泉——というのは、専門家の調査を待つまでもなく、間瀬地区では古くから知られていました。今回掘削が開始された宝川河口付近に温泉が出ていることは周知のことでした。「子供のころ、よく宝川の河口近くの温泉（川や海の水より少し熱いため）がわき出している周りに石を積み上げ、ここが温泉だ、と判かるようにして遊んだものです」と地区の人は言う。現在のようにシーサイドラインが通っていないころなので、ここを訪れる人もきわ

めて少なく、温泉の湧出量も微量で子供たちの遊び場の一つくらいでしかなかったようです。

「自然回帰」ブームで各地の温泉が見直され注目を集めています。雑誌やテレビなどでも温泉を取り上げた記事や番組に人気が集まっていることでもわかります。また、温泉の湯で新商売も大はやりで、お湯の直送や宅配便、缶詰の土産品まで出ている時代。そんな温泉ブームの中、この田ノ浦地区温泉掘削にかける夢と希望には大きなものがあります。

### 出るか、出ないかひとつのカケ：

しかし、夢も希望も膨らむ温泉掘削に課題がないわけではない。まず第一の問題は温泉が出るか、出ないか、である。専門家による地質調査や放射線測定調査では、掘削場所が最も有望である（温泉湧出のための三要素＝熱源、水源、湧出通路が必要です）、というだけで一〇〇%の保障はありません。言うなれば一つの大きなカケです。第二の問題は掘削費用の負担です。計画の段階では約四千万円が見込まれ、その負担方法などの対応でした。最近、温泉掘削に成功した佐渡の羽茂町のように村が一括負担するには危険性があり、また大きく、住民への還元を考慮してもみさんの税負担

### 温泉を活用した地域開発を

田ノ浦地区は海と山の自然地对

### 将来は日本海側の「熱海」へ：



田ノ浦地区開発協議会 会長 本間儀一郎さん（間瀬7区、61歳）

当初、この温泉掘削は四月に予定されていたのですが、海水浴シーズンに入るため安全対策などからシーズンの終わる九月にずらして踏み切ったわけです。今

形を活用して春、夏のリゾート地として利用されていますが、この温泉掘削でオールシーズンもの期待されています。県の温泉審議会に提出した温泉利用計画書では、地区周辺のホテル、旅館、キャンプ場（自然休養村崖松キャンプ場）への分湯をはじめ、温泉を活用した各種の地域開発を検討しています。なお、具体的な活用計画は温泉が出てから本番となりますが、関越自動車道の全通後、脚光を浴びる岩室村に、第二の温泉誕生となれば、大きな観光資源と地域活性化への手がかりになることはまちがいないようですね……。

のところ五百坪が目安ですが、もし温泉が出た場合には広域的観光に大きく寄与するものと期待しています。そして「港と温泉」をフレンドリーに新鮮な魚と温泉十洋ゾーンを思う存分楽しめる総合的なリゾート地にしたいですね。もちろん、対岸の佐渡との交流も……。そして将来は、日本海側の「熱海」と呼ばれる生きた観光地へと夢は膨らみます。



掘削場所は田ノ浦駐車場の宝川近く。地番は間瀬田ノ浦7430番地。シーサイドラインから掘削用ヤグラがよく見える。（トローコ-白岩側から）

